

# 認知症カフェ Village Bird (ビレッジバード)

## 「お話し会」に参加しませんか？

認知症カフェとは、認知症のご本人やそのご家族などが、身近な場所で、医療や福祉の専門職に相談したり、地域の方と交流したりできる場のことです。

8月の認知症カフェは、東海村認知症地域支援推進員を交えて、認知症についての疑問や悩み事、認知症ケアのヒントになる成功体験などについて、お茶を飲みながら意見交換します。

**期日**▼8月17日(水)

**時間**▼午後1時30分～午後3時30分

**場所**▼グループホームメジロ苑(白方1306-1)

**定員**▼先着10人程度

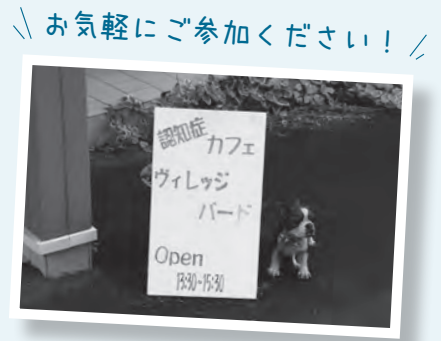
**内容**▼「みんなで話したい認知症のこと」をテーマに、深谷真吾さん(北部地域包括支援センター認知症地

域支援推進員)と参加者との意見交換を行います。

**参加費**▼100円/回(お茶菓子代等)

**申し込み**▼7月30日(土)以降に、グループホームメジロ苑(☎306-0033)へ申し込みください。

**問い合わせ**▼総合相談支援課相談支援担当(なごみ・総合支援センター内 ☎287-2525)



ふるさと歴訪  
〜歴史を再発見〜

## 考古学写真家 森昭氏と東海村

國學院大學客員教授

茂木 雅博

ここに掲載した舟塚一号墳出土の人物埴輪は森昭氏の傑作である。彼は父親の仕事の關係上中国東北部(旧満州)で一九四二年に生まれ、戦後帰国され京都の渡月橋の近くで高校時代までを過ごされた。高校を卒業後土門拳に憧れて写真家を目指し、上京して東京写真短期大学(現・東京工芸大学)を経て、恩師田辺昭三先生の紹介で、考古学者和島誠一・甘粕健先生の指導を受け考古学写真家として活躍された。

私と彼との出会いは学生時代に山王山古墳(千葉県市原市)を甘粕先生の指導で発掘調査した時からで、宇津木遺跡(東京都八王子市)では方形周溝墓、田能遺跡(兵庫県尼崎市)では泥炭層、牛塚古墳(埼玉県川越市)では金製の指輪を発見している。東海村との出会いは一九七三年三月に権現山古墳と石神城跡を航空写真撮影したことに始まる。そして須和間十二号墳、小澤野遺跡、部原遺跡、白方古墳群、下ノ諏訪南遺跡など、私が東海村で発掘調査した主要遺跡の現場写真



【舟塚一号墳出土・人物埴輪】  
(撮影/森昭)

と出土品の撮影を全て担当していただいた。彼は高校時代に平安高校で考古学の薫陶を受けていたので、発掘現場での作業が丁寧な上、写真撮影は職人肌で妥協をしないために時間を要したものの、実に綺麗な現場写真が撮影された。東海村の遺跡写真に彼の写真が残されたことを私は大変感謝している。

彼の写真は土門拳に私淑していた關係上カラーを好まず、白黒に拘るものが多く、処女作『京都の記録5 秋あそぶ』(時事通信社)によく表現されている。舟塚一号墳の人物埴輪は夜間に撮影されたもので、黒を表現するために一時間以上もかけて楽しんでライティングされていた姿が懐かしい。この写真は『歴史公論』(雄山閣)の創刊号から二年間連載された「古代の顔」(9)に使用した一枚で、夜の撮影に協力された当時の教育委員会の担当者に記念として渡された貴重な作品である。この写真も大切に保管されることを亡き森氏に代わってお願いいたします。